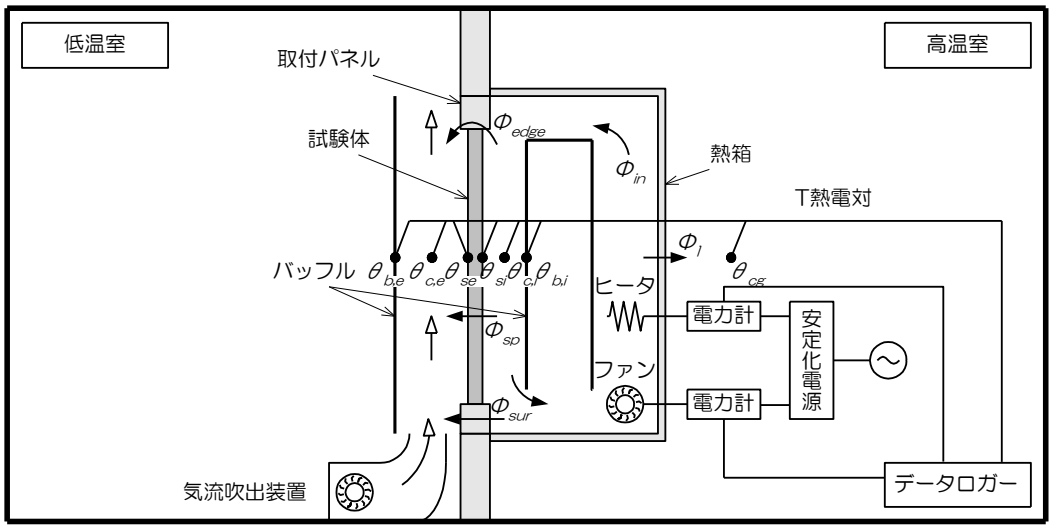
発行番号：第＊＊Ａ＊＊＊＊号
発 行 日：＊＊＊＊年＊＊月＊＊日

品 質 性 能 試 験 報 告 書

一般財団法人　建材試験センター
中央試験所長　＊＊＊＊
埼玉県草加市稲荷 5 丁目 21 番 20 号

試験名称	＊＊＊の性能試験	
依頼者	名　　称：＊＊＊＊ 所 在 地：＊＊＊＊	
試験項目	熱貫流率，熱貫流抵抗	
試験体	名　　称	＊＊＊＊
	商 品 名	＊＊＊＊
	枠の材質	＊＊＊＊
	ガラスの種類	複層ガラス（室外側より FL ＊ mm + A ＊ mm + Lowe ＊ mm）
	内のり寸法	W ＊＊＊ mm × H ＊＊＊ mm
	伝熱開口寸法	W ＊＊＊ mm × H ＊＊＊ mm
	[備考] 名称，商品名，材質，ガラスの種類及び寸法は，依頼者提出資料による。 試験体を図 1 及び写真 1，写真 2 に示す。	
試験方法	試験規格	JIS A 4710（建具の断熱性試験方法）
	試験条件	熱流方向：水平 設定温度：加熱箱内空気 θ_{ci} =20 ℃ 低温室内空気 θ_{ce} =0 ℃ 気　　流：合計表面熱伝達抵抗 $R_{s,t}$ =0.165 m²·K/W

［試験装置］



・熱箱内のり寸法　W 2000 mm × H 2000 mm

試験所長の文書による承認なしでは，完全な複製を除き，一部分のみを複製してはならない。

試験結果	伝熱面積	A_{sp}	(m^2)	＊＊＊
	発生熱量	Φ_{in}	(W)	＊＊＊
	校正熱量	$\Phi_l + \Phi_{sur} + \Phi_{edge}$	(W)	＊＊＊
	試験体を通過する熱流密度	$q_{sp} = \dfrac{\Phi_{in} - (\Phi_l + \Phi_{sur} + \Phi_{edge})}{A_{sp}}$	(W/m^2)	＊＊＊
	高温室空気温度	θ_{cg}	(℃)	＊＊＊
	熱箱内空気温度	θ_{ci}	(℃)	＊＊＊
	低温室空気温度	θ_{ce}	(℃)	＊＊＊
	空気温度差	$\Delta\theta_c = \theta_{ci} - \theta_{ce}$	(℃)	＊＊＊
	平均空気温度	$\bar{\theta}_c = \dfrac{\theta_{ci} + \theta_{ce}}{2}$	(℃)	＊＊＊
	高温側環境温度	θ_{ni}	(℃)	＊＊＊
	低温側環境温度	θ_{ne}	(℃)	＊＊＊
	環境温度差	$\Delta\theta_n = \theta_{ni} - \theta_{ne}$	(K)	＊＊＊
	平均環境温度	$\bar{\theta}_n = \dfrac{\theta_{ni} + \theta_{ne}}{2}$	(℃)	＊＊＊
	測定熱貫流率	$U_m = \dfrac{q_{sp}}{\Delta\theta_n}$	[W/(m^2・K)]	＊＊＊
	測定熱貫流抵抗	$R_m = \dfrac{1}{U_m}$	(m^2・K/W)	＊＊＊
	標準化熱貫流率 a)	$U_{st} = \left[U_m^{-1} - R_{s,t} + R_{(s,t),st}\right]^{-1}$	[W/(m^2・K)]	＊＊＊
	標準化熱貫流抵抗 b)	$R_{st} = \dfrac{1}{U_{st}}$	(m^2・K/W)	＊＊＊
	［備　考］ 試験体各部の温度測定結果を表 1 に示す。			
	注 a) 測定時の合計表面熱伝達抵抗 $R_{s,t}$ は 0.165 m^2・K/W，標準の合計表面熱伝達抵抗 $R_{(s,t),st}$ は 0.17 m^2・K/W である。 b) 標準化熱貫流抵抗は，標準化熱貫流率の逆数である。			
試験期間	＊＊＊＊年＊＊月＊＊日 ～＊＊日			
担当者	環境グループ　統括リーダー　＊＊＊＊＊＊ ＊＊＊＊＊＊ ＊＊＊＊＊＊（主担当）			
試験場所	中央試験所（埼玉県草加市稲荷 5 丁目 21 番 20 号）			

試験所長の文書による承認なしでは，完全な複製を除き，一部分のみを複製してはならない。

～～依頼者提出資料が入ります。～～

表 1　　試験体各部の温度測定結果

測定位置	温度（℃）	
	室外側	室内側
1	＊＊	＊＊
2	＊＊	＊＊
3	＊＊	＊＊
4	＊＊	＊＊
5	＊＊	＊＊
6	＊＊	＊＊
［備　考］温度測定位置は図 1 に示す。		

以上

試験所長の文書による承認なしでは，完全な複製を除き，一部分のみを複製してはならない。